



加東市民病院フォーラム 開催のお知らせ

住み慣れた『かとう』で安心して暮らしていただくために

開催日時 9月17日(日) 13時30分～16時

開催場所 やしろ国際学習塾L.O.C.ホール

○申込不要・入場無料



第1部 基調講演

『医療と介護の2025年に向けての
動向と地域包括ケアシステム』

講師 兵庫県立大学大学院経営研究科
教授 筒井孝子さん

第2部 座談会

『加東市民病院の果たすべき役割』

座長 加東市民病院事業管理者 金岡 保
コメンテーター

○小野市・加東市医師会副会長 田淵医院
院長 田淵 光さん

○加東市民病院経営健全化基本計画評価委員会委員長・
兵庫教育大学大学院学校教育研究科 教授 浅野良一さん

○加東市区長会 会長 三木秀文さん

○兵庫県介護支援専門員協会加東支部長
・デイホームあやとり 介護支援専門員 山口雅隆さん

○加東市介護サービス事業者連絡会 会長
社すみれ園デイサービスセンター 河合邦彦さん
アドバイザー

○兵庫県立大学大学院経営研究科教授 筒井孝子さん

○北播磨県民局加東健康福祉事務所 所長 柿木達也さん

問い合わせ 加東市民病院 ☎42-5511

加東市内で働きたい人のための

就職面接・相談会 in 加東市

開催日時

9月15日(金) 13時▶14時30分 加東市役所2階 201会議室

◎延長の可能性あり

開催場所

加東市役所2階 201会議室

内容 ○各事業所の採用担当者による面接 ○求人への応募前相談

※当日に面接を希望する方は、受験する事業所分の履歴書をお持ちください。

※各社の求人の具体的な内容は、市ホームページをご覧ください。

対象 次の要件のどちらかを満たす方

○平成30年3月に大学・短大等を卒業予定または既卒3年以内の方

○一般正規職員(中途採用)・非正規社員・パートタイムで就職を希望する方(※来春高卒・来春中卒の方は対象外)

参加事業所一覧(28社)

(株)三和電気商会(中古瀬)・(株)稲坂歯車製作所(高岡)・(株)稲坂油圧機器(高岡)・(株)ゴーセン(天神)・(株)ウインブルヤ
マグチ(東実)・内橋電工(下滝野)・兵庫ナショナル販売(株)(下滝野)・(株)横山建設工業(東実)・三和機工(株)(河高)・
大虎運輸(株)ひょうご東条営業所(横谷)・(株)兵庫精密工業所 南坊工場(東実)・播州農機販売(株)(河高)・(株)ホンダ
兵庫(HondaCars北神戸 東条インター店)(南山)・(株)銀ビルストア(ボンマルシェ社店)(社)・(株)セプト(北野)
・(株)エルエルシーコンピューター(下滝野)・(株)ウエストワズ(上三草)・アスカカンパニー(株)(河高)・みのり農業
協同組合(社)・(有)山本敬二商店(厚利)・(株)宮下木材(新定)・王子コンテナ(株)兵庫工場(河高)・(株)立川製鐘(新定)・
(株)ジャイロ(山国)・(株)ジョイフル(Joyful 兵庫加東店)(上中)・(株)大西コルク工業所(家原)・(株)アシ
スト(社)・公友不動産(株)(ホテルグリーンプラザ東条湖、東条湖おもちゃ王国、東条湖カントリー倶楽部)運
営会社(黒谷) (申込順)

加東市役所までの無料送迎車を運行(要予約)

JR神戸駅▶会場 11時30分発

社バリエア▶会場 12時30分発

※帰りは、面接・相談会が終わり次第、出発します。

※希望する方は電話で商工観光課までご予約ください。

相談だけでも
大丈夫!



問い合わせ 地域創造部商工観光課(庁舎3階) ☎43-0530

は設備的に対応が難しい場合はどうされるのでしょうか。

院長 近隣には、北播磨総合医療センターがあります。高度急性期の医療に対応するために必要な際や、患者さんの希望がある場合には、積極的に紹介しています。加東市民病院で機能的に対応できない心臓のバイパス手術や脳動脈瘤のクリッピング術などは、同センターのほか、県立加古川医療センターや神戸大学医学部附属病院にドクターヘリで搬送して対応します。

―救急ではどうですか。

院長 救急医療についても同じです。例えば、加東市民病院と北播磨総合医療センターは、同じように救急を担っています。常勤医師の数では、12人と120人超と、10倍以上の差があります。それでも、同様に救急医療を担当していますので、救急患者が重なるなどの余力がないときには、近隣の西脇病院や加西病院と、お互いに連携する体制を取っています。両院には、内科系の救急をお願いしていますが、今年7月から、加東市民病院の内科に新たな常勤医師が来られたことで、応援をお願いする比率は軽減しているかと思っています。

常勤医師の確保

―常勤医師については、人数が減少した時期もありましたが、常勤医師確保については、どうお考えですか。

院長 市民病院から常勤医師が減った時期がありました。が、それは、専門医を大きな病院でしか採れなくなつたという制度変更があつたからです。制度変更により、大病院に医師が集中するようになり、大病院で医師が不足しました。結果、地域の病院から大病院へ医師を引き上げることにになり、地域の病院から医師が減るということになりました。

―医師確保について、今後の展望はいかがですか。

院長 医師の採用は、大病院などで勤務している医師に「地域の医療に自身の経験をいかさないか」と声をかける形が主です。自分の知識や経験で地域社会に貢献するという、医療の本来の姿に憧れる医師は、徐々に増えてきています。

―ただ、求人に対する応募は多くなっているのですが、医師であればどんな人でもいい、というわけでもありませんので、相当数お断りしています。報酬や勤務形態などの条件はもちろん、市民のみならずとコミュニケーションが取れて、地域に貢献したいという考えで医療にあたつてくれる人ではないと、市民病院の医師にはふさわしくありません。患者さんの気持ちを取り、寄り添える医師しかいないわけです。その中で、年1人ペースですが、着実に増員しています。

地域医療について考えるフォーラムを開催

―なぜ、フォーラムを開催す

ることになったのですか。

院長 加東市民病院のホームページなど、いろいろなところで情報発信はしていますが、多くの方には知られていない現状があるためです。フォーラムでは、加東市民病院がなくなつたらどうなるか、どう困るのかというところから、運営の財源も含め、真剣に考えたいと思います。「経営状態が厳しいのなら、いつそ廃院したらどうか」と言われる方もおられますが、本当にそれでいいのかと、突き詰めて考えていきます。

―では、今後の病院運営について、管理者としての立場から一言お願いします。

院長 まず、安心した暮らしには、かかりつけ医が必要ですが、ただし、かかりつけ医が患者さんの全てに対応できるわけではないので、かかりつけ医をバックアップする病院は不可欠です。加東市民病院では、当直でない医師が時間外出勤しても100%対応したいと思っています。一方で「明日仕事なので風邪を治してくれ」という時間外の依頼にはおこなえない。どういった病院なのかを多くの方に理解してもらいながら、住み慣れたまちで、最後まで暮らし続けていくために、今後も努力していきます。

